

平成25年度事業報告

自 平成25年4月1日

至 平成26年3月31日

[総括]

- # 公益法人移行に関する法律に基づき25年4月1日付で一般社団法人に移行後、初めての事業決算である。これまで永年、外務省の所管団体として各年の事業報告、事業予算等はすべて外務省に対して行ってきたが、今年度からは総務省に対する報告となります。
- # 平成25年度収支決算の結果は、収入263,568,739円に対し、支出は271,907,614円で8,338,875円の赤字を計上しました。その結果、正味財産の期末残高は65,558,823円となりました。
- # 公益目的支出計画については、法人移行時の公益目的財産額が73,485,698円であったのに対して、25年度の実施額は33,704,065円、今期末の段階で51,800,200円を計画に沿って実施済みです。
- # 事業内容を展望すると、自治体が保有する消防自動車、救急車、塵芥収集車などを整備し直して開発途上国に贈与する、いわゆるリサイクル援助事業が順調に拡大しており、25年度は21件、14カ国に78台贈与することができました。
また在外公館の保守管理事業は25年度も一般入札に成功し、1億円以上の事業を展開しましたが、入札事業であるため収益はきわめて限定的でした。
- # 安定的な経営状態を確保するためには、①一般社団法人として財政の基礎となる法人の会費収入が管理費のわずか10%未満という現状を改善すること。②途上国へのリサイクル援助事業の更なる拡大発展を図ること。③公益法人として相応しい新規事業の起業にとめること。そのために民間有志からスポンサーを募って資金調達をはかること一が喫緊の課題であります。

[公益目的事業／継続事業]

1. 国際知識に関する普及及び調査研究事業

月例講演会の開催 — 国際情勢の研究と外交政策の広報

原則として毎月一回、日本記者クラブにおいて国際問題講演会を開催している。講師は主として外務省の幹部を招いて実施しており、外交政策の普及に努めている。25年度の開催実績は下記の通り。

〔平成25年度〕				
日付	例会名	講師肩書き	講師氏名	演 題
5/10	5月例会	外務省 中東アフリカ局 アフリカ部長	岡村 善文 氏	第5回アフリカ開発会議の課題
6/24	6月例会	外務省 中東アフリカ局 局長	官川 眞喜雄 氏	シリア情勢の真相と行方
7/26	7月例会	外務省 大洋州局 審議官	金杉 憲治 氏	これからの日韓関係
9/18	9月例会	外務省 大洋州局南部アジア部審議官	柳 秀直 氏	変貌するアジア諸国
10/28	10月例会	外務省 国際協力室 審議官	和田 充広 氏	我が国のODAの進め方について
11/29	11月例会	外務省 欧州局 ロシア課長	宇山 秀樹 氏	プーチン・ロシア大統領の戦略とこれからの日ロ
1/22	新年例会	外務省 事務次官	齋木 昭隆 氏	2014年・日本の外交課題
3/12	3月例会	外務省 アジア大洋州局 参事官	下川 眞樹太 氏	これからの日中、日韓関係

2. 在外公館支援に関する事業

エンジニア派遣事業

外務省の入札案件であるが、当協会の恒例事業となっている。

25年度は計6件（在外公館保守5件、自家発電機保守1件）を受注し、のべ53カ国の在外公館に、36名のエンジニアを派遣した。

この部門での収支は、収入111,009,108円、支出95,585,208円で14,775,399円の収益だった。

3. 海外援助に関する事業

リサイクル援助

日本国内で役割を終えた消防自動車や救急車、塵芥収集車などを自治体から譲り受け、整備し直して開発途上国に寄贈している。

25年度は別表のとおり、14カ国に21件、78台の車両を寄贈した。その内訳は消防車38台、救急車15台、塵芥収集車17台、衛生車両1台、図書館車6台、放送中継車1台。地域的にはアジア5カ国、大洋州2カ国、

中南米3カ国、中東1カ国、アフリカ3カ国だった。

この部門での収支は、収入127,949,836円、支出114,601,786円で13,348,050円の収益だった。

国名	契約時期	要請団体	提供機材
ミャンマー	2013年8月	保健省	救急車 1台
ミャンマー	2014年3月	エヤワディ地域ヒンタダ県	塵芥収集車 2台
ラオス	2013年12月	治安維持省	消防車 21台
ブータン	2014年3月	ティンプー市	塵芥収集車 4台
ブータン	2014年3月	プムタン県	塵芥収集車1、バキューム車1台
スリランカ	2014年3月	投資促進委員会	消防車 5台
フィリピン	2013年9月	セブ市	塵芥収集車 10台
ミクロネシア	2013年9月	チューク州	救急車 1台
トンガ	2014年3月	トンガ放送協会	放送中継車 1台
アルゼンチン	2014年2月	サン・マルティン市義勇消防隊	消防車 1台
アルゼンチン	2014年2月	ラゴ・プエロ市義勇消防隊	消防車 1台(ボート有)
アルゼンチン	2014年2月	カファジャテ市義勇消防隊	消防車 1台
アルゼンチン	2014年2月	マルガリータ・ベレン市義勇消防隊	消防車 1台
アルゼンチン	2014年2月	アベジャセグ市トラック・ストゥ義勇消防隊	消防車 2台
アルゼンチン	2014年2月	バランケラス市義勇消防隊	消防車 1台+技術指導
エルサルバドル	2013年11月	エルサルバドル義勇消防隊	消防車 2台
ジャマイカ	2014年3月	ウェストモアランド郡	消防車 2台、救急車 2台
シリア	2013年9月	国境なき医師団日本/NGO	救急車 6台
ケニア	2014年1月	イシオロ郡	消防車 1台
ジンバブウェ	2014年3月	セント・ジョン・アンビュランス/NGO	救急車 4台
南アフリカ共和国	2014年2月	SAPESI/NGO	図書館車 6台

国際コンサルタント業務に関する懇談会

外務省国際協力局の幹部と国際開発コンサルタント業界との意見交換会を3ヶ月に一度の割合で実施している。ODAを効率的かつ効果的に実施するため、途上国のニーズに関する情報交換や援助の進め方について議論が交わされている。

翻訳事業

平成24年度も地方自治体、学校法人、企業などから翻訳業務を受託した。

[その他の事業]

機関誌「日本外交協会報」の発行

日本外交協会の会報は、例会の行われた月に講師の講演内容を中心に編集して発行している。外交は国民の支援と協力があつてはじめて成果をあげることができるという観点から、可能な限り外務省の政策広報に力を入れている。配布先は外務省、在外公館、自治体、関連団体など。

この部門の支出は80万円であり、将来、有料化もしくは広告収入による採算化を検討する必要があると考えられる。

学生会議、シンポジウムなどへの後援、協力

日ロ学生会議、日韓学生会議、日中学生会議など二国間の学生が一同に会して議論し、友好を高める活動を設立以来、支援しているほか、国際交流団体などが実施するイベントを支援している。

以上